



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月30日

上場会社名 株式会社アンドエスティHD 上場取引所 東
 コード番号 2685 URL <https://www.andst-hd.co.jp>
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名) 福田 泰生
 問合せ先責任者(役職名)取締役経営企画本部長 (氏名) 林 正武 (TEL) 03-5466-2060
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	80,318	3.7	7,875	40.5	8,047	48.4	3,908	△10.6
2026年2月期第1四半期	77,464	4.7	5,603	△6.8	5,423	△13.8	4,374	△0.7

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 3,858百万円(0.5%) 2026年2月期第1四半期 3,839百万円(△19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	84.74	—
2026年2月期第1四半期	94.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	147,015	83,614	56.6
2026年2月期	139,688	81,823	58.3

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 83,224百万円 2026年2月期 81,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	3.2	17,200	4.1	17,200	2.2	10,500	10.5	227.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期1Q	48,800,000株	2026年2月期	48,800,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年2月期1Q	2,659,209株	2026年2月期	2,672,130株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年2月期1Q	46,130,023株	2026年2月期1Q	46,187,383株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) ブランド・地域別売上高の状況	11
(2) 商品部門別売上高の状況	11
(3) 店舗出退店等の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

連結業績

	2026年2月期 第1四半期 連結累計期間 (2025年3月1日から 2025年5月31日まで)	2027年2月期 第1四半期 連結累計期間 (2026年3月1日から 2026年5月31日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	77,464	80,318	2,853	3.7%
営業利益 (百万円)	5,603	7,875	2,271	40.5%
経常利益 (百万円)	5,423	8,047	2,623	48.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	4,374	3,908	△465	△10.6%

当第1四半期連結累計期間においては、雇用・所得環境の改善を背景に、国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかし、継続する円安や労働力不足に加え、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の上昇や為替市場の変動など、世界経済の先行きは不透明感を増しています。これらに起因する物価上昇の長期化により、消費者の節約志向や慎重姿勢が強まっており、個人消費の足踏みがリスクとなっています。

このような環境のもと、当社グループは「中期経営計画2030」に基づき、自社EC「and ST」を中心としたグループ間シナジーの創出と外部パートナーとの連携を強化し、「Play fashion!プラットフォーム」への進化を目指し、取り組みを進めてまいりました。中期経営計画における重点分野の戦略は、下記の通りです。

プラットフォーム	and ST会員基盤のつながりを最大限に活かし、「and ST」をモール&メディアに育てて外部企業による出店を獲得し、カテゴリー拡大などを通じてID（顧客基盤）とLTV（顧客生涯価値）の双方を拡大することで、流通総額1,000億円を目指します。同時にユーザーサービスの拡充やBtoB向けプロデュース事業により、収益率の向上を図ります。
グローバル	人口と経済の高成長が見込まれる東南アジアを次の柱として投資を加速し、リアル店舗の出店と展開地域の拡大を進めます。グレーターチャイナでは、マルチブランド戦略を強化し安定成長を図ります。
ブランドリテール	グループ各社がそれぞれのミッションに応じた戦略策定・事業運営を行うマルチカンパニー体制により、ブランドポートフォリオ経営を強化します。グループの中核である株式会社アダストリアでは、成長余地の大きい注力ブランドへの投資を進め、都市部への出店強化や店舗の大型化により収益性の向上を図ります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が803億18百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益が78億75百万円（前年同期比40.5%増）、経常利益が80億47百万円（前年同期比48.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が39億8百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

国内売上高につきましては、アパレル・雑貨関連事業は気温の上昇に伴いカジュアルファッション需要が底堅く推移し、トレンドを捉えた商品の販売が好調でした。また、マルチブランド・マルチカンパニー戦略による多様な商品展開や、TVCM、ポイント還元などのプロモーションの結果、前年同期比5.4%の増収となりました。M&Aによって2025年4月からグループに加わった、カリマーインターナショナル株式会社の純増も寄与しました。

また、プラットフォーム戦略に基づく「and ST」とリアル店舗で連動したプロモーション施策や、人気キャラクターや人気スタッフとのコラボ商品の展開、「and ST」への外部企業の出店拡大などにより、ECとリアル店舗の共通ポイント制度であるand ST会員数は前期末比50万人増の2,220万人に伸長し、アクティブ会員数は810万人となりました。「and ST」へ外部企業に出店いただくオープン化（モール型ビジネス）により、取り扱いブランド数・流通総額も伸長しました。

海外売上高（円換算）につきましては、中国大陸では不動産不況や消費低迷などの影響は残るものの、コストを抑えた標準型店舗の出店とECとのクロスチャネル戦略が堅調に推移し、前年同期比12.2%の増収となりました。香港と台湾ではマルチブランド戦略による新規出店とECが引き続き好調に推移し、それぞれ13.2%、27.0%の増収となりました。東南アジアも出店により増収しましたが、2025年7月に米国事業から撤退した影響により、海外事業全体では12.6%の減収となりました。

その他（飲食事業）の売上高につきましては、外食産業における原材料価格や光熱費の上昇、人手不足など厳しい経営環境が続きましたが、国内事業の堅調により、1.6%の増収となりました。

収益面につきましては、円安や製造コストの上昇による原価押し上げ影響はあったものの、「適時・適価・適量」の商品提供による在庫コントロールと値引き販売の抑制に努めました。気候にも恵まれたことで春夏物衣料の正価販売は想定通りに推移し、アパレル・雑貨関連事業の売上総利益率は前年同期から改善しました。その他（飲食事業）においては、商品価格の見直しや原価低減により原価高騰を吸収して売上総利益率は改善し、連結での売上総利益率は57.9%となり、前年同期比1.3ポイント改善しました。

販売費及び一般管理費につきましては、従業員の処遇改善による人件費の増加や売上高の伸長による店舗家賃の増加で総額は増えたものの、プロモーションの効率化などにより、販管費率は48.1%と前年同期比1.3ポイント改善しました。

以上の結果、営業利益率は前年同期比2.6ポイント改善し9.8%となり、営業利益は前年同期比40.5%の増益となりました。

また、為替差益98百万円を営業外収益に、特別功労金12億30百万円、店舗の減損損失71百万円を特別損失に計上いたしました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

①アパレル・雑貨関連事業

売上高は764億96百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は81億22百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

店舗展開につきましては、24店舗の出店（内、海外1店舗）、5店舗の退店（内、海外0店舗）の結果、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、1,620店舗（内、海外158店舗）となりました。

②その他（飲食事業）

その他（飲食事業）につきましては、売上高は38億86百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント損失は74百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

店舗展開につきましては、2店舗の出店、1店舗の退店の結果、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、74店舗となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、73億27百万円増加して1,470億15百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が74億7百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、55億36百万円増加して634億1百万円となりました。これは主に、電子記録債務が21億16百万円、未払法人税等が21億58百万円それぞれ減少した一方で、短期借入金60億円、未払金が40億97百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、17億90百万円増加して836億14百万円となりました。これは主に、利益剰余金が18億3百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,912	26,154
受取手形及び売掛金	15,971	23,379
棚卸資産	30,526	30,144
その他	6,314	4,568
貸倒引当金	△80	△67
流動資産合計	77,644	84,179
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備（純額）	8,543	8,607
その他（純額）	16,184	16,865
有形固定資産合計	24,727	25,473
無形固定資産		
のれん	566	520
その他	12,013	11,752
無形固定資産合計	12,579	12,272
投資その他の資産		
投資有価証券	463	443
敷金及び保証金	14,134	14,095
その他	10,469	10,879
貸倒引当金	△331	△328
投資その他の資産合計	24,736	25,089
固定資産合計	62,043	62,836
資産合計	139,688	147,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,773	13,862
電子記録債務	8,690	6,573
短期借入金	—	6,000
未払金	15,052	19,149
未払法人税等	5,508	3,350
賞与引当金	2,551	1,610
ポイント引当金	155	115
その他の引当金	238	749
その他	4,369	5,248
流動負債合計	50,340	56,660
固定負債		
引当金	745	243
その他	6,778	6,497
固定負債合計	7,523	6,740
負債合計	57,864	63,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	6,262	6,262
利益剰余金	76,800	78,604
自己株式	△6,098	△6,061
株主資本合計	79,624	81,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	52
繰延ヘッジ損益	177	152
為替換算調整勘定	1,577	1,553
その他の包括利益累計額合計	1,819	1,759
非支配株主持分	379	389
純資産合計	81,823	83,614
負債純資産合計	139,688	147,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	77,464	80,318
売上原価	33,627	33,843
売上総利益	43,837	46,474
販売費及び一般管理費	38,233	38,598
営業利益	5,603	7,875
営業外収益		
為替差益	—	98
その他	130	151
営業外収益合計	130	249
営業外費用		
支払利息	67	58
為替差損	238	—
その他	5	19
営業外費用合計	310	78
経常利益	5,423	8,047
特別損失		
減損損失	53	71
特別功労金	—	1,230
特別損失合計	53	1,301
税金等調整前四半期純利益	5,370	6,745
法人税、住民税及び事業税	1,786	3,189
法人税等調整額	△785	△362
法人税等合計	1,000	2,826
四半期純利益	4,369	3,918
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,374	3,908

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	4,369	3,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△12
繰延ヘッジ損益	△100	△24
為替換算調整勘定	△435	△23
その他の包括利益合計	△530	△60
四半期包括利益	3,839	3,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,848	3,848
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社の連結子会社であるZETTON, INC. (米国)は、2021年3月に制定された、米国救済計画法(American Rescue Plan Act of 2021)に基づくレストラン活性化基金(Restaurant Revitalization Fund: RRF)設立に伴い2021年5月に受給した820万米ドルに関して、米国中小企業庁(The U.S. Small Business Administration)より、受給資格の正当性について調査を受けております。

当社グループは、受給資格の正当性について、引き続き当局に対して説明を続けていくものの、今後の進捗によっては当社グループの業績に影響を与える可能性があります。現時点において当社グループの業績への影響を見積もることは困難であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	2,863百万円	2,967百万円
のれんの償却額	103百万円	45百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	73,660	3,804	77,464	—	77,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	21	21	△21	—
計	73,660	3,826	77,486	△21	77,464
セグメント利益又は 損失(△)	5,445	△21	5,423	—	5,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益又は損失には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	76,451	3,866	80,318	—	80,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	20	64	△64	—
計	76,496	3,886	80,382	△64	80,318
セグメント利益又は 損失(△)	8,122	△74	8,047	—	8,047

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益又は損失には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域	当第1四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
グローバルワーク	14,887	18.5	2.4
ニコアンド	9,985	12.4	8.1
ローリーズファーム	6,896	8.6	10.6
スタディオクリップ	6,483	8.1	10.0
レブシム	5,421	6.7	18.5
ラコレ	3,893	4.8	10.0
ジーナシス	2,987	3.7	5.2
ベイフロー	2,724	3.4	△4.0
その他	10,145	12.8	3.1
株式会社アダストリア 計	63,424	79.0	6.5
株式会社BUZZWIT	2,871	3.6	△4.7
株式会社エレメントルール	3,563	4.4	△4.1
その他連結子会社	914	1.1	3.2
国内合計	70,773	88.1	5.4
中国大陸	1,277	1.6	12.2
香港	1,370	1.7	13.2
台湾	2,835	3.5	27.0
タイ	157	0.2	45.9
フィリピン	36	0.1	3.3
海外合計(注)3	5,678	7.1	△12.6
アパレル・雑貨関連事業合計	76,451	95.2	3.8
株式会社ゼットン(注)4	3,866	4.8	1.6
その他(飲食事業)合計	3,866	4.8	1.6
グループ合計	80,318	100.0	3.7

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。
3. アパレル・雑貨関連事業における海外合計の前年同期比増減率は、2025年7月に出資持分の譲渡が完了した Velvet, LLCの前年同期の売上高を含めて集計しております。
4. 株式会社ゼットンの売上高は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。

(2) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第1四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	12,375	15.4	0.7
レディース(ボトムス・トップス)	47,622	59.3	1.5
雑貨・その他	20,320	25.3	11.3
合計	80,318	100.0	3.7

- (注) 1. 雑貨・その他は、契約負債の計上額やポイント引当金繰入額等が含まれております。
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

(3) 店舗出退店等の状況

ブランド・地域	店 舗 数					
	前連結 会計年度末	当第1四半期連結累計期間				当第1四半期 連結累計期間末
		出店	変更	退店	増減	
グローバルワーク	226	3	—	—	3	229
ニコアンド	147	2	—	—	2	149
ローリーズファーム	128	3	—	—	3	131
スタディオクリップ	188	2	—	—	2	190
レプシム	119	2	—	—	2	121
ラコレ	100	2	—	—	2	102
ジーナシス	68	1	—	△1	—	68
ベイフロー	64	1	—	—	1	65
その他	283	2	—	△4	△2	281
株式会社アダストリア 計	1,323	18	—	△5	13	1,336
株式会社BUZZWIT	28	1	—	—	1	29
株式会社エレメントルール	81	1	—	—	1	82
その他連結子会社	12	3	—	—	3	15
国内合計	1,444	23	—	△5	18	1,462
中国大陸	18	—	—	—	—	18
香港	32	1	—	—	1	33
台湾	98	—	—	—	—	98
タイ	6	—	—	—	—	6
フィリピン	3	—	—	—	—	3
海外合計	157	1	—	—	1	158
アパレル・雑貨関連事業合計	1,601	24	—	△5	19	1,620
株式会社ゼットン(注) 3	73	2	—	△1	1	74
その他(飲食事業)合計	73	2	—	△1	1	74
グループ合計	1,674	26	—	△6	20	1,694

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 株式会社ゼットンの店舗数は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。